平成20年度第13回理事会議事録

日　　時　　平成20年12月11日（木）　午後8時～同9時
場　　所　　ホ号棟管理組合集会室
出 席 者(16名)　理事12名、監事２名、地域活動１名、タマリバ１名

1 協 議 事 項

(1)ホ号棟の建替えに向けて

ア「調布市都市計画マスタープラン」について
多摩川との接点、交通、福祉、住環境、総合体育館との問題、防災避難経路との調整、南北面との交流、景観、地域活性化、調布市との総合調整等について、理事全体の意見調整

☆　臼井案について報告および「都市計画マスタープラン」について、現状のプランをどう南部地区にもたらすのか、考えてみる。

★討論の中で

①　一次、二次作業にわたる成果を、どのように考えるか。
②　これからの前進は、どのようなことから進めるのか。
③　山下設計との問題を、どのように調整していくか。
　等について、１月以降のこととして質問が出された。

☆　**都市計画マスタープランは、10 年ごとの問題であり、当面はこの問題を抜きには考えられない。**
☆　いずれ市役所との話合いで、新しい問題点が出される。
☆　そのことを含めて、ボトムアップ（地域力）を図りたい。

イ　多摩川住宅【街づくり（地区計画）準備会】に対する問題点

多摩川住宅全体に対して、緩やかな局面を作って対応していく。

☆　イ、ロとのことについて、公社の考え方に異論が出ているが、公社と市役所との問題点もあるので、そこでの調整をもとに考えていく。

ウ　多摩川住宅ホ号棟の具体的なプラン

どのような形になっていくかは未知数だが、ある程度の具体的な状況を考え、市との交渉に載せていく。

☆　辻村案についての状況報告があった。

☆　その案は、当面のスペースについて、現行の建て方をもとに考えている。

☆　作業部会などの問題があるので、（その案も考えながら）新しいプランを加えていく。

（2）新しい理事と全体の総合調整

ア　建替え問題を巡って、「総力の体制」を考え【新理事】との調整を図る。

新理事、建替え検討委員会、具体的な総合会議などの体制。

☆　やがて考慮の状態がきた時は、管理組合理事と建替え検討委員を分けて考えていく必要がある。

（4）共有地樹木剪定の業者決定について

ア　業者については「和泉園」に決定

☆　**残栽の処分については、「調布清掃」**

☆　**「ドウダンツツジ」の枯木補植**については、春になったら業者と相談をして実行する。

2 報 告 事 項

（1）11 月財務報告　→　11 月分財務報告について、了承した。

（2）各担当理事からの報告

☆　防災について、市役所と相談の上、今月中に提出する。

☆　広報「清流」は、12 月 15 日（月）までに発行。

☆　17 日にホ号棟は、給水塔受水槽清掃のため断水。

☆　21 日にホ号棟の駐車場、棟周りなどの一斉清掃あり。

（3）地域活動委員会からの報告　―略―

（4）タマリバ委員会からの報告

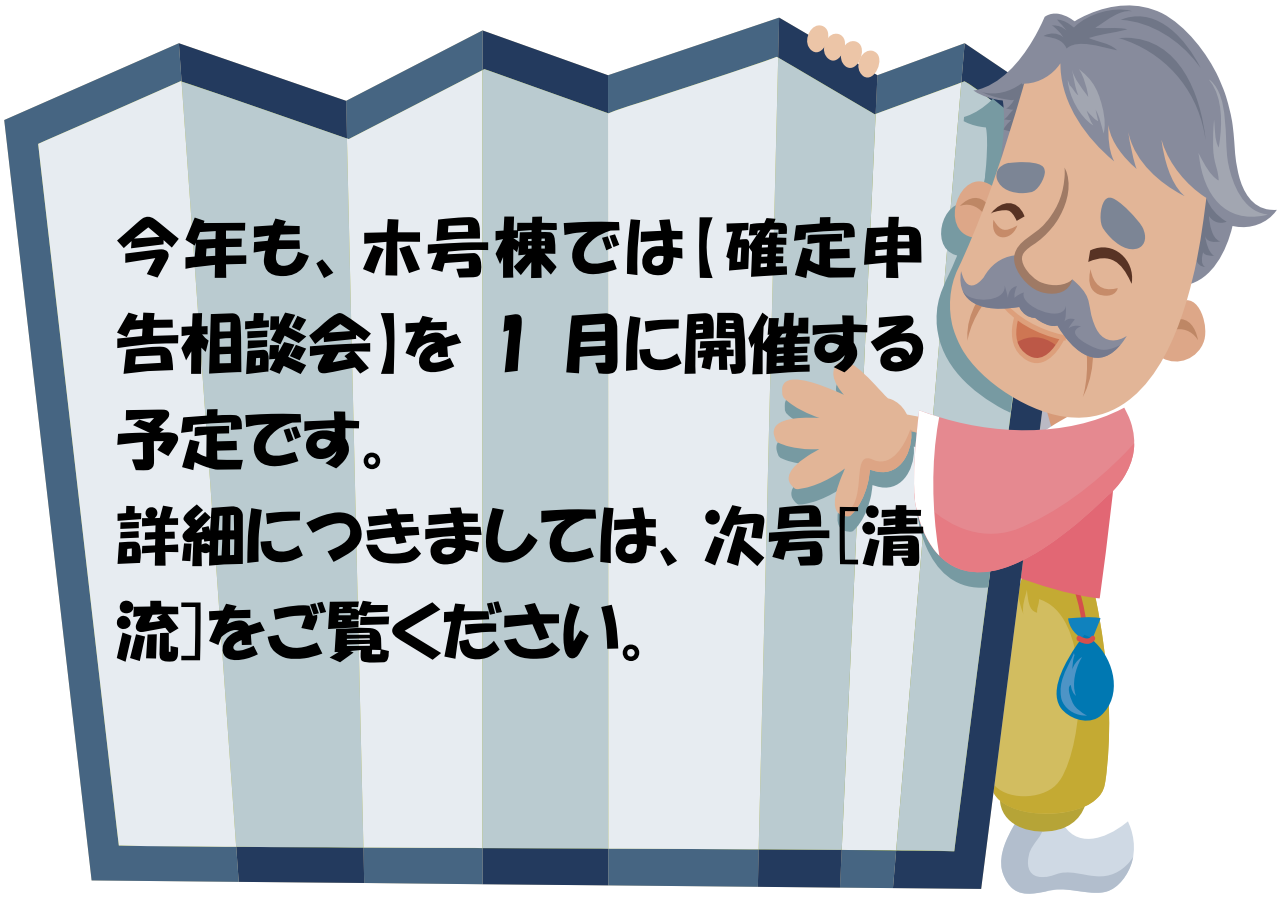
サロン･タマリバー報告および調布市へ住宅用火災報知機設置申込（75歳以上 24 名）の報告

（5）焼き芋会（12 月 21 日･日）

村松、安田、井上、安藤、進邦、上山根　百樹を中心

（6）もちつき大会（12 月 27 日･土）

実行委員会メンバー

＊管理組合	村松、井上、近藤
＊タマリバ委員会	小松、山口、石﨑
＊地域活動委員会	水野、安田
＊タマホ会	安藤、進邦

※なお、当日は多数の人手が必要なのでお手伝いを呼びかけます。ご協力を願いします。